

【団体名】 郷東川をきれいにする会

【事業名】 郷東川キッズセミナー

【事業の目的】

郷東川は主に生活排水の流れ込みから成り立ち流域住民の生活に最も近い川でありながら、親水性に乏しく忘れ去られた存在であったが、2004年に安城市唯一の多自然型護岸の工事が完了した。小学生を対象に自然観察や魚つかみなどの体験を通して環境問題を考えるきっかけとしたい。また世代を超えて川の文化の再構築をしたい。

【実施内容】

- ・第1回9月19日（土）参加者児童12名保護者ほか12名

安祥公民館で、市土木課職員から安城の川や多自然型河川の説明を聞いた後、川に移動し、川に入り生き物調査を行った。ポンツク名人の加藤さんからタモの使い方を習い、獲れた魚を水槽に移し観察した。ザリガニ、ヤゴ、ギンナブ、カメ、カエル、オイカワ、ゲンゴロウ、カダヤシ、アメンボを捕まえたが、生息している魚の種類から水質階級はⅢ（きたない水）と判定。堤防の清掃をごみ拾いも行った。



- ・第2回10月11日（日）参加者児童8名保護者ほか5名

前回のふりかえりと「郷東川いきものマップ」を作った。二つのグループに分かれ、トンボや魚、カメなど川で捕まえたり見たものを絵にかいたり色紙を切り抜いたりして形にし、郷東川の大マップに貼り付け、出来上がったマップは安祥公民館で1か月間展示した。

【成果】

参加した児童や保護者からは、身近な川で思った以上に魚が捕れたこと、ごみが多いこと、普段気づかなかったことに気づけたこと、魚を捕りっぱなしではなく、マップの上に手作りで記録できたことで子供たちも自分でやった、作ったという満足感があった、親子共結構楽しくごみ拾いなども出来、来年も参加したいとの感想をもらった。